

第3次石狩市漁業振興計画（成案）の修正概要

「第3次石狩市漁業振興計画について」に寄せられたパブリックコメント意見及び表現を見直した等により（成案）に向け修正した主な部分は次のとおりです。

ページ	修正内容	摘要
2	<p>この間、国においては、水産政策の改革として、水産資源の適切な管理と水産業の成長産業化を両立させ、漁業者の所得向上と年齢バランスの取れた漁業就業構造を確立することを目指した取組みを行っており、その柱として漁業法等を改正し、平成30（2018）年12月に「漁業法等の一部を改正する等の法律」が公布され、令和2（2020）年12月に施行されたほか、平成30（2018）年には、新たな資源管理や密漁対策の強化等を盛り込んだ漁業法が改正され、水産資源の適切な管理と水産業の成長産業化を目指し取組みが進められているほか、環太平洋経済連携協定（TPP11）の発効等により経済のグローバル化は一層の進展を見せています。</p>	
2	<p>本市においても令和2（2020）年12月に「2050年ゼロカーボンシティ」を宣言し脱炭素社会を目指すこととしていることから、本計画もこれらの達成や、に向けた取組みに位置付ける併せて農林水産省が策定した「みどりの食糧システム戦略」構築に向けた取組みとして位置付けます。</p>	
8	<p>本市の漁業は、サケとニシンの歴史とともに歩んできました。北海道最大の流量をもつ石狩川が注ぐ石狩湾は、対馬暖流と淡水の影響域を含む多様な水産生物を有する生態系が形成されておりし種の生息域や産卵場など多様な水産生物の生態系を持ち、陸域に広がる砂浜や砂丘などを含む沿岸域の良好な自然環境や生態を背景に、環境省による「生物多様性の観点から重要度の高い海域」の一つに抽出されています。これらの豊かな自然環境の下、今日もさけ定置網漁業を中心にニシン、カレイ、ヒラメなど多種類の刺し網漁業や、なまこ漁業、たこ漁業、区画漁業権が設定されているほたてがい養殖業なども行われています。</p>	<p>パブコメの反映（生物多様性の観点から重要度の高い海域について追記）</p>
25	<p>なお、ヒラメの種苗は公益社団法人北海道栽培漁業振興公社羽幌事業所で生産され、種苗の生産状況により変動があるものの年10万尾程度が放流されています。年によっては、魚病の発生等により放流数に変動はあるものの、概ね放流計画数は達成されており、資源の維持安定が図られています。</p>	
	<p>年号の部分に西暦をカッコ書きで追加し、グラフへの補助目盛とデータ数値を追記したほか、言い回しや接続詞、文脈に影響のない文言の修正・加除などの修正を行いました。</p>	